



# 三菱 フィルターコンパック 換気扇 (台所用) 20cm・25cm・30cm

## ■フィルターコンパック換気扇 (台所用)

	形 名	交換用フィルター	シャッター方式	運転方式
交換形 フィルター タイプ	EX-20LF10	P-20XFタイプ (5枚入)	連動式	引きひも
	EX-20EF10	P-20XF-Sタイプ (2枚入)	電気式	埋込スイッチ
	EX-25LF10	P-25XFタイプ (5枚入)	連動式	引きひも
	EX-25EF10	P-25XF-Sタイプ (2枚入)	電気式	埋込スイッチ
	EX-30FF10	P-30XFタイプ (5枚入) P-30XF-Sタイプ (2枚入)	連動式	引きひも・速調付
再生形 フィルター タイプ	EX-20LFH10-M EX-20EFH10-M	P-20XFMタイプ	連動式	引きひも
	EX-25LFH10-M EX-25EFH10-M	P-25XFMタイプ	連動式	引きひも
			電気式	埋込スイッチ

## 取扱説明書 (据付説明書付)

### お客様へ

- ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保存してください。
- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)

### 工事店様へ

- 据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。据付けは販売店・工事店様において実施してください。
- 電気工事は販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。(無資格者の電気工事は法律で禁止されています)

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

## 据付説明書

### 工事店様へ

## 1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

**警告**

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

	●高温 (室内温度40℃以上) になる場所や直接炎のあたるおそれのある場所には据付けない 火災の原因。
	●改造しない 火災・感電の原因。
	●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電の原因。
	●浴室など湿気の多い場所や結露する場所には据付けない 感電・故障の原因。
	●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に据付けの場合、換気扇金属部とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように据付ける 漏電した場合発火の原因。
	●電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は、感電や火災の原因。
	●交流100Vを使用する 交流100V以外を使用すると火災や感電の原因。
	●台所に据付ける場合は、調理時に安全に操作できる位置 (引きひもを確実にまっすぐ下に引ける位置) に据付ける 火傷・けがの原因。

**注意**

誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

	●天井には据付けない 落下によるけがの原因。
	●本製品は樹脂製 (可燃) のため、フード内には据付けない 火災・故障の原因。
	●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によるけがの原因。
	●据付けの際は手袋を着用する けがの原因。
	●部品の据付けは確実に行う 落下によるけがの原因。

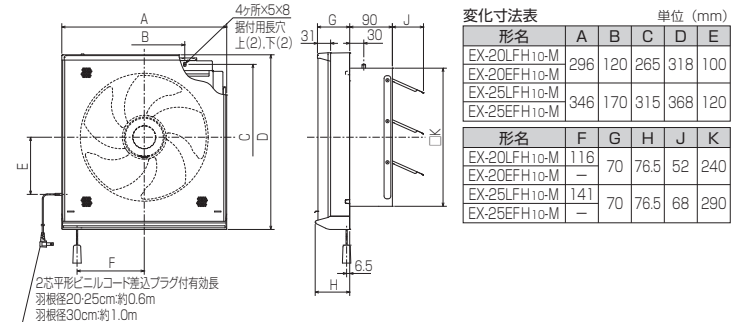


### お願い

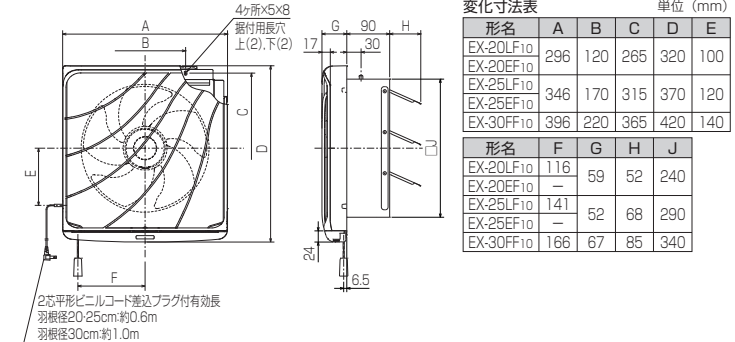
- 下記の場所には据付けないでください。
  - ・温泉地
  - ・塩害地域
  - ・薬品工場
  - ・養鶏・養豚場のようなほこりや有害ガスの多い場所
  - ・業務用厨房
  - ・カーテン・ひもなどが触れるおそれのある場所
  - ・直射日光が当たる場所
- 雨水の直接かかる場所では雨水が浸入することがありますので、専用ウェザーカバーをご使用ください。
- ダクト接続はできません。
- 天井・壁から70mm以上、コンロから1m以上、ガス給湯器横から50cm以上離れたところに据付けてください。
- 床面から1800mm以上のメンテナンス可能なところに据付けてください。
- 空気の流れが必要なため、換気扇は対面に入出口・窓などがあるところに据付けてください。
- 外風の強い場所・高气密住宅への設置には下記のような症状が発生する場合があります。
  - ・羽根が止まったり逆転する
  - ・停止時に本体のすき間から外風が侵入する
  - ・外風でシャッターがばたつく
  - ・換気しない

## 2.外形寸法図

EX-20LFH10-M, EX-25LFH10-M, EX-20EFH10-M, EX-25EFH10-M



EX-20LF10, EX-25LF10, EX-30FF10, EX-20EF10, EX-25EF10



## 3.壁穴工事

### 壁穴・木枠の寸法

壁穴の寸法は木枠 (不燃枠) の厚さに応じ異なりますが板厚20mmの場合下表の寸法となります。

機 種	A	B
羽根径20cm	290	250
羽根径25cm	340	300
羽根径30cm	390	350

※木枠の内寸法Bは、うちわボルト据付の場合、 $\pm 5$  の範囲内で製作してください。

### ○木枠作りのお願い

板厚20mm以上で室外側下部に約5°の傾斜をつける…雨水浸入防止  
木枠内のり寸法が小さい木枠に据付けると本体が変形したり、シャッターが動作しないことがあります。

### 壁穴位置

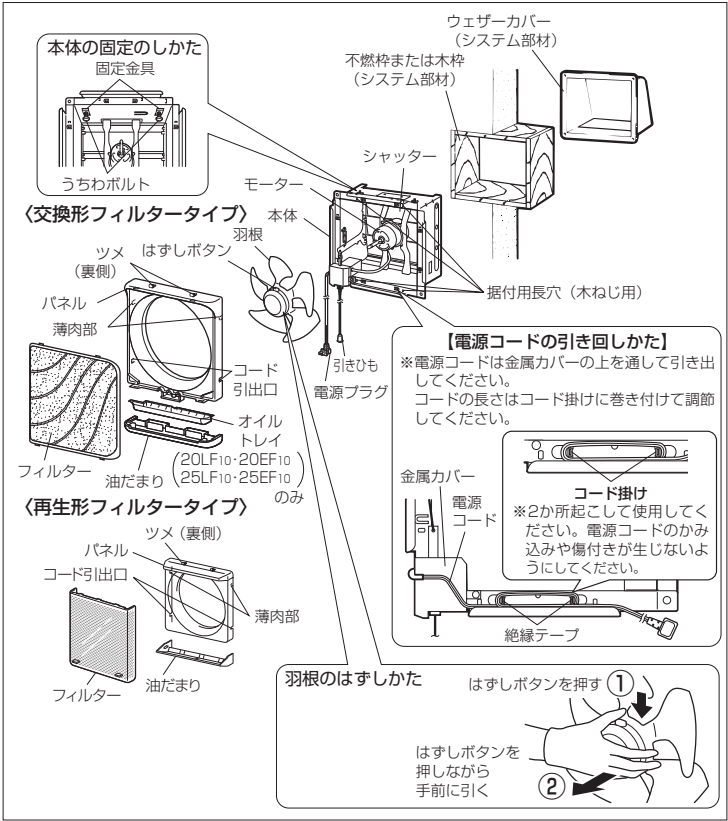
天井、壁から70mm以上離す。  
必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付ける。

## 4.電気工事

工事	タイプ	LF10, FF10, LFH10-M	EF10, EFH10-M
コンセント工事	右記の①、②のいずれかを実施してください。	①専用コンセントを設ける場合、換気扇近くに設けてください。	②換気扇内部にコンセントを設ける場合、別売システム部材のコンセント取付金具 (P-1X2) を使用します。コンセント取付金具の据付説明書を参照してください。
		本体に引きひもスイッチが付いてい	本体にスイッチがないため操作しやすい場所に埋込スイッチ (システム部材) を設けてください。
埋込スイッチ工事		ますので不要です。	

5.据付方法

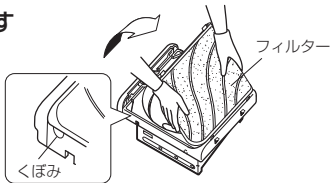
注意 ●据付けの際は手袋を着用する  
けがの原因。



1 フィルター、羽根、パネルをはずす

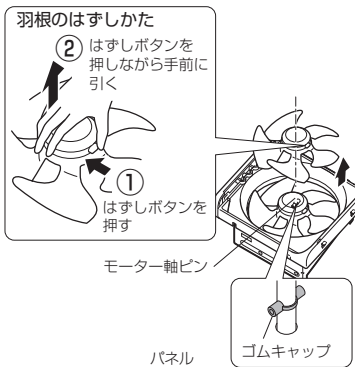
(1) フィルターをはずす

- フィルター横のくぼみに手をかけ、手前に引いてフィルターを本体からはずす。



(2) 羽根をはずす

- 羽根中央部を軽く持って、はずしボタンを押しながら手前に引く。

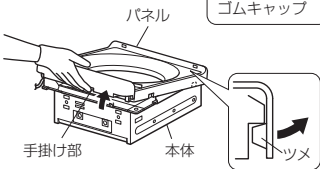


お願い

- モーター軸ピンのゴムキャップははずさないでください。異常音発生の原因。
- シャッターを開いたまま床などに置かないでください。シャッターが変形し動作しないことがあります。

(3) パネルをはずす

- 手掛け部を手前に引いて、パネル裏側上面のツメを本体からはずす。

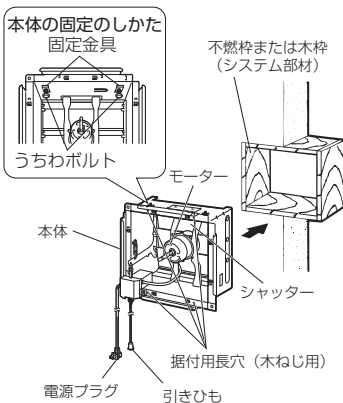


2 本体を据付ける

- 「うちわボルト」2本で確実に固定する。または市販の木ねじで据付用長穴上(2)・下(2)計4か所固定する。
- 2.5m以上の高さに据付ける場合は、安全のためうちわボルトは使用せず、必ず市販の木ねじで据付用長穴上(2)・下(2)計4か所固定する。

お願い

- うちわボルトを使用しない場合は、うちわボルトおよび固定金具をはずしてください。
- 市販の木ねじは、めっき等を施した耐食性のある鉄製のねじを使用してください。



3 コンセントの位置に合わせ電源コード引出口を決める

- ①左右の上下4か所のいずれか1か所から電源コードを引出す。  
※上部から引き出す場合は、薄肉部をカッターナイフなどで切り取る。  
(切断部がエッジにならないように加工してください)
- ②電源コードのたるみが、羽根・パネルに当たらないよう、コード掛けを起こして巻き付ける。  
※電源コードを巻き付けた後は、コード掛けを倒して電源コードを固定してください。

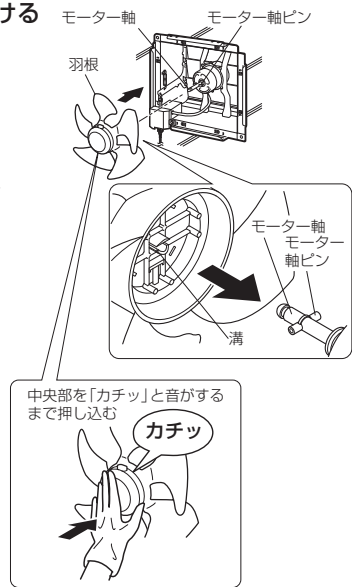
4 羽根、パネル、フィルターを取付ける

(1) 羽根を取付ける

- ①羽根は裏側の溝をモーター軸ピンに合わせながら、羽根中央部をモーター軸に挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込む。
- ②羽根中央部を軽く手前に引っ張り、羽根が確実に取付けられていることを確認する。

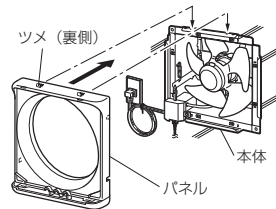
注意

- 部品の据付けは確実に行う  
落下によるけがの原因。



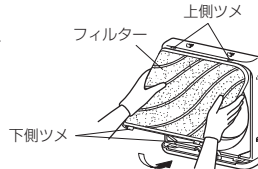
(2) パネルを取付ける

- パネル裏側上面のツメを本体上部に引っ掛けて取付ける。



(3) フィルターを取付ける

- フィルターは、上側のツメ(2か所)を差し込み、次に下側のツメ(2か所)を確実にはめ込む。  
(交換形フィルタータイプのみ)



6.据付後の確認および試運転

- 据付作業終了後、試運転の前にチェック表に従って点検します。
- 不具合があった場合は必ず直してください。  
(機能が発揮されないばかりか、安全が確保できません)
- お客様立ち会いで試運転を行ってください。

チェック項目	不具合の対策	チェック
電源は100Vですか？	100Vに直します。 (異電圧を印加すると製品が破損します)	
本体の据付け強度は十分ですか？	うちわボルトまたは木ねじで確実に固定します。	
パネルが確実に取付けられていますか？	パネルを取付け直します。	
フィルターが確実に取付けられていますか？	フィルターを取付け直します。	
羽根が確実に取付けられていますか？	羽根を取付け直します。	
(引きひもスイッチタイプの場合) 引きひもを引いて動作を確認しましたか？	引きひものからみなどを直します。	
(壁スイッチタイプの場合) スイッチと本体の動作は合っていますか？	結線を直します。	
羽根当たり音がしていませんか？	パネルをはずして配線の処理、羽根・パネルなどの部品を取付け直します。	
シャッターが正常に作動していますか？	シャッターの変形、部品の取付け、木枠の内寸法を確認します。	

7.お客様への説明

取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様、発注者または管理者にご説明ください。



# 取扱説明書 (お客様へ)

## 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの	 <b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
 <b>禁止</b>	●ガス漏れに気づいたら、換気扇のスイッチを入・切や電源プラグの抜き差しはしない 爆発・引火の原因。	 <b>禁止</b>	●引きひもを急に引っばったり、斜めに引っばらない 引きひもが取れて調理器具等の高温部や炎に手などが触れ、火傷・けがの原因。
 <b>水ぬれ禁止</b>	●本体各部に直接水やお湯をかけない ショート・感電の原因。	 <b>接触禁止</b>	●運転中は、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。
 <b>分解禁止</b>	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客様相談窓口にご相談ください。	 <b>指示に従う</b>	●羽根や部品の取付けは確実に行う 部品の落下によりけがの原因。
 <b>ぬれ手禁止</b>	●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電・けがの原因。	 <b>指示に従う</b>	●お手入れの際は手袋を着用する けがの原因。
 <b>指示に従う</b>	●お手入れの際、電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭く 火災の原因。	 <b>プラグを抜く</b>	●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く 感電・ショートして発火の原因。
 <b>プラグを抜く</b>	●交流100Vを使用する 交流100V以外を使用すると火災や感電の原因。		●長期使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 感電・火災の原因。

## ..... 使用方法 .....

- LF10・LFH10-Mタイプ  
引きひもを引くごとに「入」↔「切」します。
- EF10・EFH10-Mタイプ  
壁スイッチで「入」↔「切」します。
- FF10タイプ  
引きひもを引くごとに「強」→「弱」→「切」に切り替わります。

**お願い**

- 引きひもはゆっくりとまっすぐ下に引いてください。(引きひもスイッチタイプ)  
斜めに引いたり急に力を加えようと、引きひもが取れたりスイッチが故障する原因になります。引きひもが取れた場合は、お買上げの販売店または工事店にお申しつけください。
- 炎をあけて調理をしないでください。
- 変形したり、溶けて穴があく場合があります。(交換形(樹脂製)フィルタータイプ)
- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用しないでください。(製品の寿命が短くなる場合があります)
- 調理時には、高温になった鍋やフライパン、炎などに手や衣類が触れる場合があります危険ですので、引きひもの操作はしないでください。(引きひもスイッチタイプ)

## ..... お手入れ .....

**警告**

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る。感電・けがの原因。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電・けがの原因。
- 本体各部に直接水やお湯をかけない。ショート・感電の原因。

**注意**

- お手入れの際は手袋を着用する。けがの原因。

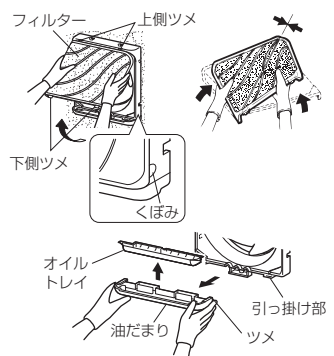
## フィルター・オイルトレイのお手入れ

フィルター・オイルトレイが汚れてきましたら、新しいフィルター・オイルトレイ(システム部材)と交換してください。

交換形フィルタータイプ		再生形フィルタータイプ	
形 名	交換用フィルター・オイルトレイ(システム部材)	形 名	交換用フィルター
EX-20LF10	P-20XFタイプ(フィルター5枚、オイルトレイ5個入)	EX-20LFH10-M	P-20XFタイプ
EX-20EF10	P-20XF-Sタイプ(フィルター2枚、オイルトレイ2個入)	EX-20EFH10-M	P-25XFタイプ
EX-25LF10	P-25XFタイプ(フィルター5枚、オイルトレイ5個入)	EX-25LFH10-M	P-25XFタイプ
EX-25EF10	P-25XF-Sタイプ(フィルター2枚、オイルトレイ2個入)	EX-25EFH10-M	P-25XFタイプ
EX-30FF10	P-30XFタイプ(フィルター5枚)		
	P-30XF-Sタイプ(フィルター2枚)		

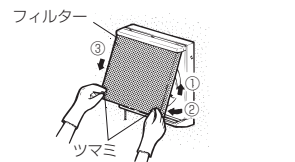
### 〈交換形フィルタータイプの場合〉

- 1 **フィルターを交換する**
  - ①フィルター横のくぼみに手をかけ、手前に引いてフィルターを本体からはずす。
  - ②古いフィルターは半分に折って捨て、新しいフィルターを取付ける。
    - 上側のツメ(2か所)を差し込み、次に下側のツメ(2か所)を確実にはめ込む。
- 2 **オイルトレイを交換する**
  - ①油だまりの両端を持って、傾けないように注意してはずす。
  - ②油だまりの中のオイルトレイを交換し、油だまりを元通りに取付ける。
    - 油だまり両側のツメをパネル下側の引っ掛け部に差し込み、油だまりの中央部を押して確実にめ込む。



### 〈再生形フィルタータイプの場合〉

- 1 **フィルターをパネルよりはずす**  
ツマミをいったん押し上げ、手前に引っ張る。
- 2 **フィルターはお湯を流しながらタワシなどで洗う**
- 3 **水分をふき取り乾燥させ、取りはずしと逆の順序で組立て取付ける**



## 各部品のはずしかた

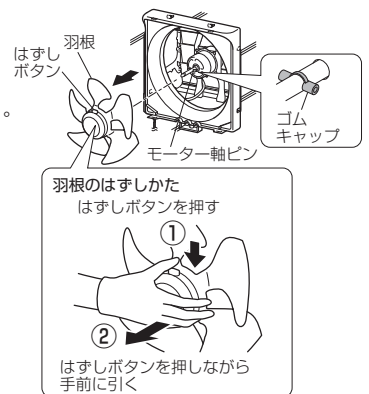
- 1 **羽根**
  - 羽根中央部を軽く持って、はずしボタンを押しながら手前に引く。

**お願い**

  - モーター軸ピンのゴムキャップははずさないでください。異常音発生の原因。
- 2 **パネル**
  - 手掛け部を手前に引いて、パネル裏側上面のツメを本体からはずす。
- 3 **本体**

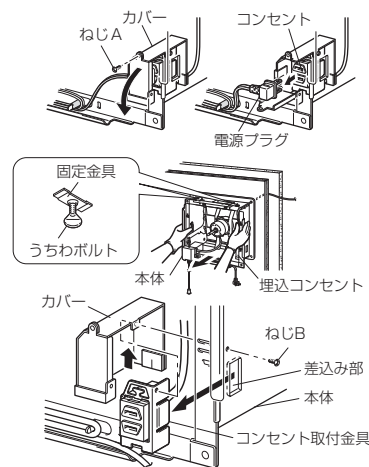
**お願い**

  - 本体が木ねじで壁に固定されている場合は、本体を壁からはずさないでください。壁側のねじ穴が破損し、製品落下の原因。
  - シャッターは本体からはずさないでください。動作不良の原因。



### 〈内部コンセントがある場合〉

- ①換気扇の電源プラグを抜く  
ねじAを取りはずし、カバーを開ける。  
コンセントから電源プラグを抜く。
- ②本体を手前に4cm程引き出す  
「うちわボルト」をゆるめ、  
本体を手前に4cm程引き出す。
- ③コンセント取付金具とカバーをはずす  
本体側面のコンセント取付板の固定ねじBをはずす。  
屋内配線コードを埋込コンセントに付けたまま、コンセント取付金具を手前に引いて本体からはずす。
- ④本体をはずす  
不燃枠(木枠)から本体をはずす。



### 〈本体の近くにコンセントがある場合〉

- 電源プラグをコンセントから抜き、本体上部にある「うちわボルト」をゆるめて本体を不燃枠(木枠)からはずす。

